

船橋市議会議員

立憲民主党

みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告



船橋産の天然ガス

寒い日が続いています。皆様におかれまして体調など大丈夫でしょうか？ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザも流行っているようです。身体の保温をしっかりと行い免疫力を高めておきましょう。

今の寒い時期は暖房機器が欠かせません。また新型コロナウイルス感染症の影響で室内の換気を行うために、以前より暖房機器を使用して室温を維持するため電気やガス、灯油などの費用がかさみます。さらに昨年コロナ禍後の経済回復に伴うエネルギー需要の増加、風水力などの再生可能エネルギーが不安定だったために世界的に天然ガスを必要としました。加えてロシアがウクライナに侵攻したことにより、経済制裁がおこなわれロシア産の原油と天然ガスが流通しなくなる不安からエネルギー価格は高騰したままです。この影響により船橋市も電気ガス料金が約10億円も不足することから昨年の12月議会までに新たな補正予算を組んだことは、以前の議会報告でお伝えしたとおりです。船橋市もエネルギー価格高騰を乗り切るために様々な取り組みが必要です。

(裏面へ続く)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(44歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目当選
- 特技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルレクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班 所属
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻と特別支援学級に通う息子(小学生)、娘(幼稚園)の4人家族
- 趣味: 子どもと散歩、お酒

(表面から)

そもそもエネルギー価格が上がる一番の要因は天然ガスの高騰です。日本の電気は70%以上が火力発電でまかなっており、その火力発電所の大半が天然ガスを使用しているため影響が大きいわけです。今後、火力発電ではない発電方法に移行していくことが大切ですが、現状ではすぐに変更できる訳ではありません。しかし、天然ガスを少しでも安く入手できれば価格高騰は抑制できます。

日本国内でも天然ガスが採掘できます。皆さんもご存知のとおり、船橋市は国内でも有数のガス田、南関東ガス田に位置しており昭和46年までは市内でも天然ガスが採掘されていました。ただ、天然ガスを採掘する際に汲み上げられる地下水の影響により、大規模な地盤沈下が発生しました。これを防ぐために千葉県と船橋市は天然ガスの鉱業権を買い取り、昭和47年からは採掘されなくなりました。

今、海外産の天然ガスは高騰していますが、国内産の天然ガスは価格上昇していないことから、千葉県で採掘される天然ガスに期待が高まっています。船橋市は鉱業権を持っていますので、天然ガス採掘に挑戦してみるのも一案かもしれません。もちろん天然ガス採掘で地盤沈下が再び起こってはなりませんので、環境へ影響しないことが大前提です。

技術は年月とともに進歩していきます。地下資源の採掘技術では「シエールガス革命」が有名です。それまでは採掘困難であった地層から、石油や天然ガスを抽出する技術革新があり、世界のエネルギー事情が大きく変わりました。船橋市の地下で眠る天然ガスを、地盤沈下を防ぎながら採掘する方法もあるかもしれません。国内産天然ガスが見直されていることについて千葉県の熊谷知事は「千葉県が誇る資源であり大事にPRしていきたい。地盤沈下を抑制するだけの採取量に制約する中で活用していく。そういう技術が出てきてほしいと願っている」との趣旨を発言しています。

天然ガスの鉱業権を活用して、市民の方に還元できるような取り組みができないか？船橋市に調査研究するよう昨年の12月議会で求めました。

船橋市議会議員 三橋さぶろう

〒274-0063 船橋市習志野台2-4-13 ネスト12 101

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。